慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	世界水準の比較憲法学を踏まえた日本憲法学の刷新
Sub Title	Inovation of Japanese style comparative constitutional studies based on global standard.
Author	横大道, 聡(Yokodaido, Satoshi)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2020
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)
JaLC DOI	
Abstract	日本の比較憲法研究は、①英米独仏などの特定国に隔たっており、②基本的に対象国の理論や学説の紹介が中心で、③憲法典の制定・改正は研究対象とせず、④ドメスティックな研究が中心で、日本の憲法状況を海外に発信することは稀である。これに対して、近年、世界的に興隆を見せている比較憲法研究では、①特定国に隔たらず、②他の学問領域の研究手法を積極的に取り入れ、③憲法典を所与とせず、④国際的な交流を盛んに行っている、正反対の状況にある。 本研究は、世界水準の比較憲法研究の議論を踏まえて、日本の憲法学で議論されてきた論点や、十分に検討されてこなかった論点について明らかにするとともに、それらについて発信することを試みた。 まず、世界水準の比較憲法学の知見を踏まえて、日本の憲法学の議論状況を相対化し、新たな視点を提示する研究として、法学教室誌の「探検する憲法」という連載を挙げることができる。次に、日本の憲法状況を海外に英語への発信として、定評のあるオンライン・ジャーナルであるGerman Law JournalにConstitutional stability in japan not due to popular approvalという論文を掲載した。 本研究は、３か年計画で立案したものであり、いまだ途上にあるが、１年目の成果として十分な業績を示せたのではないかと考える。 Comparative constitutional research in Japan focuses only on the U.S, Germany, France, and England. Other countries are usually not the subject of research. And Japanese constitutional law scholars are not interested in how to enact or amend the constitution. In contrast, Comparative Constitutional Studies around the world are focus on every country and compare them, and interested in the process of constitutional enactment and the best way to the amendment. In this research, I try to change the environment of Japanese comparative constitutional studies based on global standard research. I published many articles, including "Constitutional stability in japan not due to popular approval", for that purpose.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190267

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019 年度　学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

2020 年 5 月 11 日

研究代表者	所属	大学院法務研究科（法科大学院）	職名	教授	補助額	500 （特B）千円
	氏名	横大道 聡	氏名（英語）	Satoshi Yokodaido		

研究課題（日本語）

世界水準の比較憲法学を踏まえた日本憲法学の刷新

研究課題（英訳）

inovation of Japanese style comparative constitutional studies based on global standard.

１．研究成果実績の概要

日本の比較憲法研究は、①英米独仏などの特定国に隔たっており、②基本的に対象国の理論や学説の紹介が中心で、③憲法典の制定・改正は研究対象とせず、④ドメスティックな研究が中心で、日本の憲法状況を海外に発信することは稀である。これに対して、近年、世界的に興隆を見せている比較憲法研究では、①特定国に隔たらず、②他の学問領域の研究手法を積極的に取り入れ、③憲法典を所与とせず、④国際的な交流を盛んに行っている、正反対の状況にある。

本研究は、世界水準の比較憲法研究の議論を踏まえて、日本の憲法学で議論されてきた論点や、十分に検討されてこなかった論点について明らかにするとともに、それらについて発信することを試みた。

まず、世界水準の比較憲法学の知見を踏まえて、日本の憲法学の議論状況を相対化し、新たな視点を提示する研究として、法学教室誌の「探検する憲法」という連載を挙げることができる。次に、日本の憲法状況を海外に英語への発信として、定評のあるオンライン・ジャーナルである German Law Journal に Constitutional stability in japan not due to popular approval という論文を掲載した。

本研究は、3 か年計画で立案したものであり、いまだ途上にあるが、1年目の成果として十分な業績を示せたのではないかと考える。

２．研究成果実績の概要（英訳）

Comparative constitutional research in Japan focuses only on the U.S, Germany, France, and England. Other countries are usually not the subject of research. And Japanese constitutional law scholars are not interested in how to enact or amend the constitution. In contrast, Comparative Constitutional Studies around the world are focus on every country and compare them, and interested in the process of constitutional enactment and the best way to the amendment.

In this research, I try to change the environment of Japanese comparative constitutional studies based on global standard research. I published many articles, including "Constitutional stability in japan not due to popular approval", for that purpose.

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名（著者・講演者）	発表課題名（著書名・演題）	発表学術誌名（著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月（著書発行年月・講演年月）
Satoshi Yokodaido	Constitutional stability in japan not due to popular approval	German Law Journal	2019 年5月
横大道聡	統治構造において「違憲審査制」が果たすべき役割	判例時報	2019 年 11 月